

令和 6 年度 上 半 期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	加納児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市加納高柳町1丁目1番地 岐阜市立加納西小学校 敷地内		
指定管理者名	社会福祉法人 和光会		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,355,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,008.00㎡ ◇延床面積:348.27㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、静養室、会議室、事務室		

●利用状況

		R6上半期	R5下半期	R5上半期	R4下半期	R4上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	8,095	8,302	7,714	6,286	5,911
	移動児童館利用者数	348	225	214	393	215
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※11(10)	※8(6)	※7(5)	※13(11)	※10(8)
	開館日数(単位:日)	154	151	155	151	155

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画どおり実施 ②所長(常勤職員)、常勤職員1人、非常勤職員5人の合計7人を配置(児童厚生員資格は所長を含め3人、保育士資格は5人、幼稚園教諭免許は5人、教員免許は2人) ③引き続き児童センターのおたより「はみんぐ」を、乳幼児用と児童用の2種類を毎月発行・配布した。【加納西校区自治会回覧(ペーパーレス化により公民館に設置に変更)・小学校(5校)・聾学校・中学校(1校)・幼稚園・認定こども園(3園)・公民館(5館)・南部コミュニティセンター・ドリームシアター岐阜・南市民健康センター・放課後児童クラブ(4クラブ)】 *おたより「はみんぐ」は和光会ホームページにも掲載している。 なお行事等終了後は、和光会ホームページに記事を掲載した。 子どもボランティアの取り組みも掲載した。 *母親クラブの各サークルのチラシを館内に掲示し、利用者や地域への周知を図る。 ④常時、ご意見箱を設置するとともに、利用者には、手配りアンケートを実施し、素早い問題の解決に努めた。 来館・退館時に声をかけ話しやすい雰囲気づくりを心掛けた。アンケート結果は幼児室と図書学習室に掲示した。 ⑤来館状況・利用者状況・幼児室リノベーション工事により計画書に基づき、臨機応変に対応した。
自主事業 提案事業		

施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施 ②利用者が帰られる度におもちゃ等の消毒、及び 破損等の点検をした。消毒はアルコール、次亜塩素酸ナトリウムの希釈液、オゾン式保管庫を適宜使用した。 週2回、就労促進事業清掃班による清掃が行われている。 館周辺の除草、木の剪定、清掃等を毎朝行い、快適に利用していただけるよう努めた。 ③冷暖房の設定温度を気温・室温に応じてこまめに調整し、サーキュレーターの使用数を増やし、エアコンの修繕も行い光熱費ができるだけ抑えられるよう努めた。 *廃材を利用した玩具づくり等資源を大切にすることにした。 *雑草が生えている所にハーブや乾燥に強い花の苗を植え、虫よけの対策や景観を改善した。 ④専門業者による遊具点検を、年2回実施した。 破損したおもちゃは月1回開催されるおもちゃ病院の職員に相談し、修理することで安全に使用できるものに関しては修理を依頼し、大切に使用している。また、施設修理等は指定管理者(本部)または、法人統括事業所長に修理を依頼し、施設の維持管理に努めた。施設警備業務は日本ガード株式会社が安全維持管理し随時巡回点検を行い、異常箇所の有無確認をしている。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①ヒヤリハット報告書を記入する事で、日頃から職員が小さな気づきを意識した。全職員が意識することで危険な箇所を点検し、速やかに修繕を実施した。 ②修繕については指定管理者(和光会本部)の警備員等と一緒に危険箇所の発見・整備を行い、安全に利用できるよう努めた。
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①～③のすべてにおいて、岐阜市と法人本部が作成したマニュアル等に沿って実施した。(全職員で、育成研修課からの年間研修計画書に沿って、個人情報・コンプライアンスなどの研修を行った)また、法人内の感染症対策研修等に参加し他の職員に伝達講習を行うことでリスクマネジメントを含め職員間の認識強化を図った。ヒヤリハット報告書記入を強化し周知することで事前の事故や苦情の防止に努めた。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和6年8月10日～8月28日 回答者数: 50人 <小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和6年8月11日～令和6年9月1日 回答者数: 50人(小学:1年8人、2年8人、3年6人、4年5人、5年4人、6年11人) (中学:1年8人、2年0人、3年0人)(高校:1年0人、2年0人、3年0人)
利用者アンケートの実施結果	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 加納西(15人)、三里(14人)、加納東(7人)、厚見(7人)、華陽(2人)、徹明さくら(2人)、その他市内(3人) 【年齢】 10代(0%)、20代(16%)、30代(70%)、40代(14%)、50代以上(0%) 【利用頻度】 初めて(10%)、ほぼ毎日(0%)、週2～3回(4%)、週1回(16%)、2週間に1回(24%)、月1回(34%)、その他(12%) 【来館相手】 子(98%)、孫(0%)、友人(1%)、その他(1%) 【子・孫の年齢】 0才(23%)、1才(23%)、2才(23%)、3才以上(31%) 【来館方法】 徒歩(25%)、自転車(12%)、自家用車(63%)、公共交通機関(0%) 【何で知った】 ホームページ(40%)、広報紙・チラシ(11%)、学校(1%)、保育所・幼稚園(0%)、知人・友人(23%)、ぎふ子育て応援アプリ(1%)、ブログ・SNS等のソーシャルメディア(1%)、その他(23%)

利用者アンケートの実施結果	【評価】 (あいさつ) 満足(86%)、ほぼ満足(14%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい) 満足(88%)、ほぼ満足(12%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応) 満足(82%)、ほぼ満足(16%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ) 満足(56%)、ほぼ満足(34%)、普通(8%)、やや不満(2%)、不満(0%) (整理整頓) 満足(76%)、ほぼ満足(18%)、普通(6%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感) 満足(70%)、ほぼ満足(24%)、普通(6%)、やや不満(0%)、不満(0%) (換気) 満足(66%)、ほぼ満足(22%)、普通(12%)、やや不満(0%)、不満(0%) <小・中・高校生用アンケート> 【学校名】 加納西小(25人)、三里小(7人)、陽南中(6人)、加納小(5人)、長森西小(3人)、その他市内(4人) 【学年】 小学: 1年(16%)、2年(16%)、3年(12%)、4年(10%)、5年(8%)、6年(22%) 中学: 1年(16%)、2年(0%)、3年(0%) 高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 【利用頻度】 初めて(2%)、毎日(8%)、週4・5回(8%)、週2・3回(18%)、週に1回(22%)、その他(44%) 【来館相手】 ひとりで(17%)、友人(35%)、兄弟姉妹(16%)、父母(23%)、祖父母(1%)、 親戚(1%)、その他(7%) 【来館方法】 徒歩(42%)、自転車(25%)、自家用車(26%)、バス・電車(7%) 【好きな遊び】 カロム(17%)、ドッジボール(13%)、卓球(11%)、カードゲーム(11%)、オセロ(8%)、 けん玉(7%)、その他(33%)
利用者からの要望・苦情と 対処・改善	<保護者> ・リノベ後は、ますます快適になりました →ありがとうございます。幼児室のリノベーションにより、明るく清潔になりました。今後も快適に過ごしていただけるよう努めます。 ・部屋の中のおもちゃや絵本が沢山あって楽しめた →ありがとうございます。幼児室のリノベーションにより、おもちゃや絵本を充実させました。今後も楽しんでいただけるよう努めます。 ・小学生の子たちと日常に関われる部屋があるよい(お互いの経験になる) →幼児室リノベーション工事中に、図書室で乳幼児と児童の関わりが深まったとお声をいただいております。遊戯室は一緒に利用でき、土日祝は交流しやすい利用状況です。ぜひ来館ください。 ・すべり台、ジャングルジムのような体を動かせるものがほしい。 →利用状況により幼児室・遊戯室に大型遊具を設置することが難しいため、ご了承ください。体を動かして遊ぶことができるよう、遊戯室でコーナー遊びの日を設けています。ぜひご利用ください。 ・もう少しおもちゃを増やしてほしい →コロナに限らず、いろいろな感染症が予想され、不特定多数が利用されることから感染症対策を継続しておりました。ご不便おかけしてしまいましたが、現在は感染症対策の見直しとともに、おもちゃの設置も見直し、改善していきます。また、園児さんの利用が増えていますので、おもちゃの内容も見直し改善していきます。 ・職員が別室にいるため、子どもたちと同じ部屋にいてくれると声をかけやすい →児童が多く来館している際に職員が複数対応し幼児室に不在な場面が多くなっておりました。申し訳ありません。今後は気軽に声をかけていただけるよう職員の配置を改善します。 ・おやつを食べるスペースがほしい。 →衛生管理上、食事をするスペースの設置が難しく、ご不便おかけして申し訳ありません。 ・多目的トイレが暑い →施設の構造上、エアコンの冷気が届かず申し訳ございません。市の担当課と相談の上、検討していきます。 ・小学生と幼児の兄弟で利用する際、一緒にできない部屋があるので不便 →0歳～18歳未満の幅広い年齢の子どもたちが利用する施設です。年齢を区分して利用する部屋があることをご了承ください。なお、遊戯室はおもちゃを他の部屋・貸出おもちゃを使用することができます。よろしく願いいたします。 ・0歳～2歳/3歳以上～くらいの部屋分けだと遊べやすい →部屋数に限りがあり、乳幼児親子/児童/全年齢と区分しています。その時の利用状況でご不便を感じた場合は対応します。お声かけください。 ・駐車場が止められない、広くしてほしい →ご不便おかけして申し訳ありません。市と担当課と情報収集や調査を行っております。さまざまな条件で調整することができれば広がる可能性があります。ご了承ください。 <児童> ・マンガを増やしてほしい →週刊誌や月刊誌をいれています。お気に入りのマンガが見つかったら嬉しいです。 ・18時まで遊びたい →長い時間、児童センターで遊びたいと思ってもらえてとても嬉しいです。ただ、お家に帰る時間は、安全な時間が良いと思います。事故なく安心して帰ることができる時間内で遊んでいただけたら嬉しいです。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	S	S	S
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	S	S	S
		⑪スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	S	S	S
		⑫スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	①全体 *利用者の安全性・安心感を第一に、どのような運営をしていくのか常に改善を心掛けた。 *自由来館の場であることを踏まえ、感染症対策として 換気方法や消毒について適宜見直し、定期的にまたは必要に応じて行った。 *リノベーション工事中に、乳幼児親子と児童が同室で過ごすことで、自然と交流ができ、お互いに来館に期待を持つようになった。児童の『子どもボランティア』への関心の高まりと参加が増えた。 *毎月の命を守る訓練では、身近な危険と回避の仕方に加え、最近増えている災害についても関心を高めていけるよう絵や写真で視覚的にも知らせた。シェイクアウト訓練・「おはしも」は小学校でも学んでいるため積極的な反応があり体験することで更に関心を高めた。 ②子育て支援事業 *子育て支援活動では、未就園児親子を対象とした乳幼児クラブにおいて、内容の見直しと共に、入園時期が早まったことで、年齢区分の見直しによる縦割りの区分による交流もはじめた。コーナー遊びでは、毎月内容を検討し、季節に合わせた遊びや、体を動かせる遊びにより、コーナー遊びへの期待を高め、児童センターの自由来館へと繋げた。 *幼児室リノベーションにより、絵本コーナーの充実し喜ぶ姿があり、ビーズクッションやソファでゆったりくつろぎながら絵本を読み、安心して穏やかに過ごす様子が増えた。 *部屋の物理的状況から利用者が多い0歳～1歳前半中心の玩具が設定されてあるため、園児の保護者からの要望にも応えるよう見直し・改善を進めていく。 ③児童健全育成事業 *体力増進活動として、岐阜県レクリエーション協会に『モルック』『フープディスク』『点鳥ルーレット』『マグダーツ』『たいこ相撲』『ふらば〜る』『インディアカ』『リングテニス』を借りた。遊戯室で広く伸び伸びと用具に触れる機会を設け、行事に取り入れたことで、オリンピックも重なり、様々な運動やスポーツへの興味が広がった。 *低学年が楽しめる遊びに加え、高学年との交流を通して教え合い、助け合うことができるよう、遊びの内容を工夫し、職員がきっかけ作りをしながら行った。 *『さわやかTime』では、講師(加納西校区 民生児童委員・元教員)とも相談し、身近なものを写生して絵を描くというテーマに加え、児童に人気のプラ板でキーホルダー作りを行い、好評であった。 *加納西地区の自治会から頂いた花の苗植えを児童が行い、玄関のプランターや敷地内花壇に咲くマリーゴールド等を愛でる機会となり『さわやかTime』の写生を行い、より親しみを持つことができた。 *地域ボランティア(母親クラブ代表)を講師として迎え、人気キャラクターのマスコット作りは、定員を超え、また期限を過ぎても問い合わせが多く、好評であった。 *夏休み最終日の『児童夏まつり』は、台風等の影響を避けることができ、夏の楽しい思い出作りを提供できた。家庭によっては、保護者が仕事で旅行等の予定がない場合があり、児童センターの役割として楽しい機会を提供できた。 *誰もが気軽に楽しめる児童の『子どもボランティア』は、リノベーション工事期間中の乳幼児親子・児童の同室での触れ合いをきっかけに乳幼児親子との交流が深まり、関心が高まった。自分の取り組みが誰かのためになる・役立つという期待から、何かしてあげたい・手伝いたいという要望が増え、普段の遊びの準備・乳幼児クラブの準備、『リノベーションフェア』『納涼大会』といった準備・運営など積極的に参加する姿があった。 *エアコン修繕により遊戯室が夏季も使用できるようになり、ドッジボールやレクリエーション用具を使った運動系遊びを楽しむことができたが、カードゲーム等を追加したことで更にコミュニケーションや知恵を生かして楽しめる機会を増やしていく。 ④ 地域支援活動事業 *昨年度より引き続き母親クラブ会長と密に連携をとり、母親クラブ主催の行事等、協力して行っている。 *地域ボランティアの方にはさつまいもの畝作りや草取りを含めて協力していただき、生育を楽しみにしている児童・乳幼児親子は10月の芋ほりに期待をしている。 *加納西地区の『サマーフェスティバル』のチラシを掲示し、期待が高まった児童・乳幼児親子の話を聞いていき、職員も楽しさを共有しながら参加した。 *加納西地区の自治会からいただいた花の苗を子どもボランティアと共に植え、来館時に愛でながら親しむことで、自然への関心と共に、自然からの癒しをうけとることができた児童や乳幼児親子もいた。 * 加納西地区の防災訓練に訪問し、地域と共に防災の意識を高めるため体験・参加した。 *地域の方々に協力をいただいて運営できていることに感謝し、今後も連携してよりよい運営につなげていく。
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	*子育て支援活動では 乳幼児クラブの申込時にも楽しみが持てるよう昨年度に引き続きコーナー遊びを設定し、その内容を毎月見直した。周知活動を行い、コーナー遊びを楽しみに来館する乳幼児親子が増えている。また、祖父母による「孫育て」が増え、コーナー遊びを利用し喜ぶ姿がある。 *乳幼児クラブは、クラブ開始時間に来館する親子がおり、開始時間すぐにはじめられない場合には、その事情を説明し、待っている間に声をかけたり、短い手遊びやふれあい遊びをすることで、開始しないことへの不満を解消するよう対応した。 *健全育成活動では、カードゲーム等が貸出制であったため気づかない児童もあり、職員から提案したり遊んでいるところに入れてもらったりすることで周知された。感染症のある程度の落ち着いたきに合わせて、図書室に常時置いておく方法に変え追加したことで、コミュニケーションや知恵を生かして盛り上がるよう対応した。
今後の取組み	・子育て支援活動は、0歳児の両親・祖父母の問い合わせが増えており、職員や来館者との交流を求めている姿を受け入れ、安心・安全に過ごせる場所となるよう努めていく。また、夕方・土日祝・長期休暇の園児の来館に合わせて、園児も楽しめる玩具や遊びを増やしていきたい。 ・健全育成活動では、第3の居場所として、毎日のように来館する児童の姿を受け入れ、職員間で共有し、見守りに必要に応じた援助を心掛けたい。 ・地域の方々との交流を通じて、乳幼児親子も児童も、見守られているという安心感の中で過ごせるきっかけとなる児童センターであるよう行事等の企画をしていく。

●所管課の意見

○乳幼児親子対象の納涼大会を、ニーズに応じて二部制の開催としたり、レクリエーション協会のこれまで触れたことのない用具を遊びに取り入れる等、業務改善や新規事業に積極的に取り組んでいる。
○地元ボランティアによる講師やさつまいもづくり、自治会提供の花の苗植えを行う等、交流事業に取り組んでいる。
○地元の防災訓練を訪問し、防災意識を高める体験に参加する等、地域と共に社会活動に取り組んでいる。

●指定管理者評価委員会の意見

○遊戯室でのコーナー遊びに積極的に取り組んでおり、評価できる。
○低学年と高学年の交流につながるよう、遊びの内容も工夫しており、協調性を育む取り組みで評価できる。
○乳幼児向けのイベントを充実させている。